

★普天間基地問題の根本

―移転問題の背後に横たわる素朴な疑問と問題―

◆鳩山政権が普天間基地移転につき、五月までに結論を出すと言ってから残すと、ころあと二ヶ月あまりとなりました。その根本問題を考えてみよう。

★フテンマってなに？

◆トヨタは知っていてもフテンマって何のことなのか、アメリカ人の大多数は知らないそうです（*）。つまり、アメリカ人には関心のないことなのです。

（*）前駐日米大使トーマス・シーフアー氏談 3月3日・日経記事

◆アメリカ人が無関心でも、人口密集地のど真ん中にある普天間基地は沖縄県民にとつて深刻な問題です。しかしその処理を、日米軍事同盟の存続前提の一里塚とするのではなく、平和憲法実現のための一里塚としたいものです。

◆普天間問題が挫折すると日米関係が壊滅的打撃を受けるというのは間違いです。日米の友好関係を築くにはもつと他の要素があることをこの際考えようではありませんか。

★基地存在の異常性と問題

◆日本の国土面積のわずか0・6パーセントしかない沖縄に、在日米軍基地の70パーセントが存在することは異常ではありませんか？

◆米軍再編で明らかになったように、米軍基地の存在理由はアメリカの世界軍事戦略の踏み台としての役割です。そして、その費用の70パーセントを日本が負担しているのは問題ではありませんか。世界にも例がありません。

★日米（軍事）同盟はこの国の存亡問題か

◆まず素朴な疑問として、日米軍事同盟がなければ日本は本当に存続していけないのでしょうか？

◆中国と北朝鮮が攻めてくる。だから軍事同盟が必要だと言う。経済的にも政治的にも何のメリットもない我が国への攻撃です。国際社会から鼻つまみになり、制裁を受けてまで攻めてきて何の得があるのでしょうか？

◆日米安保条約は米ソ冷戦構造が前提の軍事条約でした。冷戦構造が終わりを告げその歴史的使命も終わったのです。そこで、仮想の脅威を作って軍事同盟を維持しようとしているのは間違いです。これが普天間基地問題の根本です。

二〇一〇年三月一四日（日） 第五一七回憲法を守る平和行進

★浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

